



鳥居龍蔵が調査した頃の苗族

鳥居龍蔵と 中国西南部の少数民族 ——苗族を例に——

鳥居龍蔵(1870—1953)は、1902年7月から翌年3月にかけて中国西南部を旅し、同地域に住む少数民族を調査しました。彼がこの調査を計画した背景には、台湾の先住民族と中国西南部の苗族には関連性が認められるという、西欧人の唱えた学説がありました。

この展示では、鳥居が中国西南部で行った調査の概要と、同調査の背景となった学説が明治期の日本に伝わったことについて紹介します。

2025 **4.1** 火 ▶ **7.27** 日

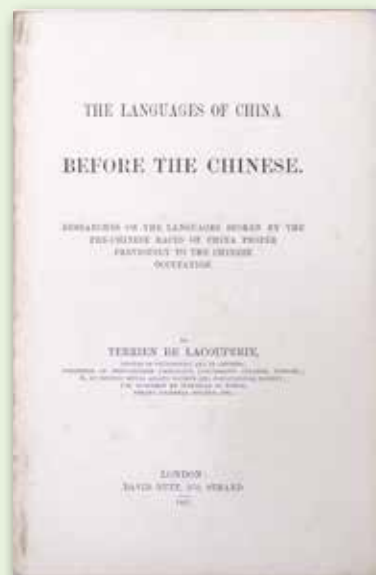
●**展示場所** 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 常設展示室 第2展示室内

●**開館時間** 9:30 ~ 17:30

●**休館日** 毎週月曜日（ただし、5月5日〔月・祝〕、7月21日〔月・祝〕は開館）、
5月7日〔水〕、7月22日〔火〕

●**観覧料** 通常の常設展観覧料（一般 200 円、高校・大学生 100 円、小・中学生 50 円）

※祝日・振替休日は無料 ※土・日曜日、夏休み期間は高校生以下無料
※その他各種減免あり



ラクーベリー著『漢族以前の中国の言語』

